

氏名： 久保田洋子

研究教育業績（2016-2020 年度）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

邦文誌（査読有）

- 1)久保田洋子, グローバル化と新しい日常～これからの視点～8, *在宅薬学*, (1):p 50-52(2021). 早期公開
- 2)久保田洋子, 海外の薬局・薬学事情～その2～, *在宅薬学*, 7(1):p 83-85(2020).
- 3)久保田洋子, アジアの薬学教育と薬剤師の今, *在宅薬学*, 6(1):p51-56(2019).
- 4)久保田洋子, 症例解析&文献評価ワークショップ 2018: 脂質異常症 一文獻評価コースプリセプターの視点からの報告と考察—日本アプライド・セラピューティクス学会,10;47-55,2018.
- 5) Sakaguchi M., Kubota Y., Otsuka M., Sekine Y. Consideration on success factors for deploying Health Support System at a community pharmacy using qualitative Research Method, *Pharmacy Society of Japan*,10(1),124-130(2018).
- 6) 久保田洋子, 岩佐祐希, 医薬品・医療機器の法律実務, *法律のひろば*, 70, 30-38(2018).
- 7) 久保田洋子, SHELL(Support Health care, Education and Learning ,Lab)～健康情報拠点としての薬局機能のリエゾンサービス～のモデル構築, *2017 杉浦地域医療振興助成報告書*,7,42-43(2017).
- 8) 久保田洋子, SHELL(Support Health care, Education and Learning ,Lab)～健康情報拠点としての薬局機能のリエゾンサービス～のモデル構築に向けて, *2016 杉浦地域医療振興賞・杉浦地域医療振興助成報告書*,7,28(2016).
- 9) 久保田洋子, 臨床系教員（実務家教員）のこれから, *埼玉県薬剤師会雑誌*, 7,20-22(2016).

国際誌（査読有）

[総説]

- 1) 久保田洋子, コラム「適正な医薬品の使用について」, 鴻巣市データヘルス計画,(2017).

[著書]

- 2) 久保田洋子（分担）, コンパス医薬品情報学（改訂第2版）- 理論と演習一, 南江堂,13-20(2018).
- 3) 久保田洋子（分担）, ここが知りたかった 薬局で気づく疾患シグナルー見分け方とつなぎ方, 南江堂, 19-29(2018).
- 4) 久保田洋子（編集,分担）, いきいきと暮らすために, 勇美記念財団, 9-20 (2018).
- 5) 久保田洋子（分担）, 薬学生のための実務実習事前学習テキスト 改訂第2版, ネオメディカル, 209 - 214(2017).
- 6) 久保田洋子（分担）, 病棟に行く前に知っておきたい Common Disease（分担）, *じほう*, 58(6),123-167,368-377,448-460,(2016).

[その他]

- 1) 久保田洋子(編集,分担),実務実習事前学習書【臨床前教育】(第2版), 中央プリント, 1-132,195-

243(2018).

2) 久保田洋子(編集,分担),実務実習事前学習書,中央プリント,1-116,180-229(2017).

2. 主な学会発表

[国際学会]

1) Yuki UEHARA, Tsugumi OHKURA, Hiroki YOSHIDA, Naoki MINATO, Subaru TANAKA, Madoka MORITA, Masayuki FUKUCHI, Manabu TAKAHASHI, Midori MATSUNAGA, Mitsuru YANAGISAWA, Yosikazu MATSUDA and Yoko KUBOTA, Research on the Role of Pharmacists in Improving Oral Function, 1st AASP Young Scientist Conference 2020, 11-13 December 2020.

2) Kubota Y., Murahashi T., Arai K., Doi T., Anzai K., Humanism education utilizing Active Learning

～Problems of Life and death in medical care～, The 77th World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences, International Pharmaceutical Federation FIP, September, Soul (2017).

[国内学会]

シンポジウム

1) 久保田洋子(オーガナイザー), 齋藤百枝美, 大塚耕太郎, 宮澤純子, 薬学へのメンタルヘルスファーストエイド教育の導入—地域医療における薬剤師の新しい役割—, 第4回日本薬学教育学会大会シンポジウム, (2019).

2) 久保田洋子(オーガナイザー), 中川左理, 藤田健二, 増田信一, 宮道二葉, 臨床と教育で求められる医薬品情報の展望～海外での経験から見てきたこと～第21回日本医薬品情報学会 総会・学術大会 シンポジウム, (2018).

3) 久保田洋子(オーガナイザー), 飯嶋久志, 宮東 剛文, 初田 泰敏, 大内 ひろ子, 医薬品情報教育のこれから～教育から臨床現場へ～, 第20回 日本医薬品情報学会 総会・学術大会シンポジウム, 6月, (2017).

4) 大室弘美, 猪川和朗, 齋藤充生, 榎本博雄, 久保田洋子(シンポジスト), 審査報告書とリスク管理計画書で読み解く添付文書～薬局における添付文書と関連資料の活用～, 第19回日本医薬品情報学会 総会・学術大会 シンポジウム, 6月, 東京(2016).

一般発表

1) 久保田洋子, 村橋俊, 船山信次, 小林力, 前田智司, 熊本浩樹, 中村有貴, 小林賢, 土井孝良, 樋口敏幸, 安西和紀, 日本薬科大学におけるヒューマニズム教育の醸成～新しい評価方法の構築とこれからの課題～, 第4回 薬学教育学会, 8月, 東京(2018).

2) 横山俊介, 渡部雅俊, 齋田正和, 関根祐子, 久保田洋子, AMRガイドラインと 抗菌薬の適正使用～呼吸器疾患における処方調査～医療薬学フォーラム 2018/第25回クリニカルファーマシーシンポジウム, 6月, 東京(2018).

3) 久保田洋子, 村橋毅, 土井良孝, 荒井健介, 樋口敏幸, 安西和紀, ヒューマニズム教育プログラムの構築と課題～アクティブラーニングの導入, 日本薬学会第138年会, 3月, 金沢(2018).

- 4) 渡部雅俊, 横山俊介, 松村久男, 藤原邦彦, 榊原幹夫, 久保田洋子, 少子高齢社会における薬剤師の新しい役割～口腔機能の測定～, 第 27 回日本医療薬学会年会, 11 月, 幕張(2017).
- 5) 久保田洋子, 佐古兼一, 松村久男, 有富桂子, 松田佳和, 藤原邦彦, 日本薬科大学における「プレ教育」の取り組み～プレ教育から実務事前学習へ～, 日本薬学会第 137 年会, 3 月, 仙台(2017).
- 6) 関根佑子, 久保田洋子, 大久保正人, 千葉市の保険薬局における健康支援活動に関する実態調査, 千葉大学薬学部公開講座, 1 月, 千葉(2017).
- 7) 宇佐見則行, 櫻井七恵, 坂本明音, 瀬戸勇貴, 沢田遼多, 田中啓太, 山本理沙, 中市脩, 堀本孝典, 荒井國三, 久保田洋子, 養護教諭および学校薬剤師に対する新たな「薬物乱用防止教育法」の指導者研修, 第 50 回日本薬剤師会学術大会, 10 月, 東京(2016).
- 8) 櫻井七恵, 瀬戸勇貴, 沢田遼多, 田中啓太, 坂本明音, 堀本孝典, 山本理沙, 中市脩, 荒井國三, 久保田洋子, 宇佐見則行, 第 50 回日本薬剤師会学術大会, 10 月, 東京(2016).
- 9) 坂本明音, 櫻井七恵, 瀬戸勇貴, 沢田遼多, 田中啓太, 中市脩, 堀本孝典, 山本理沙, 荒井國三, 久保田洋子, 宇佐見則行, ロールプレイを取り入れた「薬物乱用防止教育」の実践, 第 50 回日本薬剤師会学術大会, 10 月, 東京(2016).
- 10) 田中啓太, 坂本明音, 櫻井七恵, 瀬戸勇貴, 沢田遼多, 山本理沙, 中市脩, 堀本孝典, 荒井國三, 久保田洋子, 宇佐見則行, クリッカー(授業応答システム)を用いた「薬物乱用防止教育」における双方向授業の実践(その3), 第 50 回日本薬剤師会学術大会, 10 月, 東京(2016).
- 11) 沢田遼多, 田中啓太, 坂本明音, 櫻井七恵, 瀬戸勇貴, 堀本孝典, 山本理沙, 中市脩, 荒井國三, 久保田洋子, 宇佐見則行, 「くすり教育」を取り入れた「薬物乱用防止教育」の実践, 第 50 回日本薬剤師会学術大会, 10 月, 東京(2016).
- 12) 加瀬裕也, 松村久男, 岩崎光, 飯田美奈子, 加来鉄平, 斉藤博, 村橋毅, 久保田洋子, 藤原邦彦, 松田佳和, ボルテックス懸濁法による錠剤・カプセル剤の短時間崩壊懸濁性および経管栄養チューブ通過性に関する研究, 日本病院薬剤師会関東ブロック第 46 回学術大会, 8 月, 千葉(2016).
- 13) 渡辺航平, 松村久男, 飯田美奈子, 笠原華子, 加来鉄平, 齋藤博, 村橋毅, 久保田洋子, 藤原邦彦, 松田佳和, 超音波懸濁法によるバクタ®配合顆粒の崩壊懸濁性と薬剤安定性に関する研究, 日本病院薬剤師会関東ブロック第 46 回学術大会, 8 月, 千葉(2016).
- 14) 岩崎光, 松村久男, 加瀬裕也, 飯田美奈子, 加来鉄平, 斉藤博, 村橋毅, 久保田洋子, 藤原邦彦, 松田佳和, ボルテックス懸濁法による固形薬剤の短時間崩壊懸濁性および経管栄養チューブ通過性に関する研究, 埼玉医療薬学懇話会第 36 回学術研究発表会, 7 月, 埼玉(2016).
- 15) 久保田洋子, 野村正明, 高瀬久光, 尾山治, 大本まさのり, 杉山朋美, 興村桂子, 岡本晃典, 毎田千恵子, 荒川由紀美, 佐藤栄子, 北陸大学における『プレ実務実習』の取り組み～第Ⅲ報～, 日本医療薬学会第 136 年会, 3 月, 横浜(2016).

その他の発表

- 1) 久保田洋子(講師), ニッポン放送主催 オンライン市民講座 ～オンラインで楽しく・正しく学ぶ今、考えたい家族の健康～, 「ジェネリック医薬品について」3 月(2020).
- 2) 久保田洋子(講師), OTC 医薬品 普及啓発オンラインイベント, 「よく知って、正しく使おう OTC 医薬品」, 11 月, 東京(2020).

- 3)久保田洋子(講師), OTC 医薬品 普及啓発イベント,
「よく知って、正しく使おう OTC 医薬品」, 10 月, 東京(2019).
- 4)久保田洋子(講師), 令和元年第 6 回 千葉県登録販売者講習会, 2 月 (2019)
- 5) 久保田洋子(講師), 丸の内キッズジャンボリー, 正しいくすりの使い方教室, 8 月, 東京(2019).
- 6) 久保田洋子(講師), OTC 医薬品 普及啓発イベント,
「よく知って、正しく使おう OTC 医薬品」, 10 月, 東京(2018).
- 7) 久保田洋子(講師), 体の栄養と心の栄養～東西の処方せんから～, 9 月, 埼玉・桶川市 (2018) .
- 8) 久保田洋子(講師), 丸の内キッズジャンボリー, 正しいくすりの使い方教室, 8 月, 東京(2018).
- 9) 久保田洋子 (講師) , 日本アプライド・セラピューティクス学会, 第 14 回科学的・合理的に薬物療法を実践するためのワークショップ「症例解析&文献評価ワークショップ 2018 脂質異常症」, 5 月, 東京(2018).
- 10) 久保田洋子(講師), 第 5 回 千葉県登録販売者講習会, 2 月 (2018)
- 11)久保田洋子(講師), OTC 医薬品 普及啓発イベント,
「よく知って、正しく使おう OTC 医薬品」, 10 月, 東京(2017).
- 12)久保田洋子(講師), 丸の内キッズジャンボリー,
正しいくすりの使い方教室, 8 月 15 日, 東京(2017).
- 13)久保田洋子 (講師) , いきいき大学伊奈学園「健康長寿を考える 」, 11 月, 埼玉(2017).
- 14)久保田洋子 (講師) , 公益財団法人いきいき埼玉 健康セミナー
第 3 回 健康長寿の秘訣, 11 月, 埼玉(2017).
- 15)久保田洋子 (講師)、公益財団法人いきいき埼玉 健康セミナー
第 2 回 健康長寿の秘訣 10 月, 埼玉(2017).
- 16)久保田洋子 (講師)、公益財団法人いきいき埼玉 健康セミナー
第 1 回 健康長寿の秘訣 9 月 , 埼玉(2017).
- 17) 久保田洋子(健康相談), 第 2 回 みんなの健康フェア, 3 月, 埼玉(2018).
- 18) 久保田洋子(健康相談), 第 1 回 みんなの健康フェア, 9 月, 埼玉(2017).
- 19) 久保田洋子 (健康相談) , これからの健口相談, 4 月, 野田(2017).
- 20) 久保田洋子 (健康相談) , 50 代からの健康セミナー, 3 月, 高崎(2017).
- 21) 久保田洋子(講師), 平成 28 年度千葉県登録販売者生涯学習, 7 月, 千葉(2016).
- 22)久保田洋子 (講師) , SP 講習会 (日本薬科大学) ,
「受ける介護・する介護～お薬との上手な付き合い方～」, 9 月, 日本薬科大学(2016).
- 23)久保田洋子 (講師) , 上尾公民館
「受ける介護・する介護～お薬との上手な付き合い方～」, 10 月, 日本薬科大学(2016).
- 24)久保田洋子 (講師) , 石川県津幡町健康まつり,
「ファルマシアンカフェ・災害時の避難所 HUG」, 10 月, 石川 (2016) .

3. その他特筆すべき研究業績

[研究費の受入状況]

- 1) 久保田洋子（分担），文部科学省科学研究費基盤研究(C)，舌圧値を活用した口腔機能評価に基づく薬剤師による口腔教育・服薬支援システムの構築，1900千円，(2020-2022)。
- 2) 久保田洋子（代表），2016年度（後期）在宅医療助成 勇美記念財団，「台東区統合ケアマネジメント事例検討のための研修会」，550千円（2017）。
- 3) 久保田洋子（代表），第5回杉浦地域医療振興助成，「SHELL（Support Health care, Education and Learning ,Lab）～健康情報拠点としての薬局機能のリエゾンサービス～のモデル構築」，1300千円（2016）。
- 4) 久保田洋子（共同），平成28年度地域志向教育研究経費事業 COC 共同事業「千葉市の保険薬局における健康支援活動に関する実態調査」，(2016)。
- 5) 久保田洋子（協力），文部科学省科学研究費基盤研究(C)，地域医療におけるリスク・ベネフィットコミュニケーション：薬局情報支援モデルの構築，(2014-2016)。

II. 教育業績

1. 担当授業科目

- 1) 2020年度 薬学総合演習Ⅱ(6年) 4コマ
薬学総合演習ⅠB(4年) 2コマ
実務事前実習(4年) 28コマ
医療における心構え(4年)
医薬品情報(4年)
実務事前学習(3年) 2コマ
薬剤師の使命(1年) 10コマ
一般用医薬品学(スポーツ2年)
- 2) 2019年度 薬学総合演習Ⅱ(6年) 4コマ
薬学総合演習ⅠB(4年) 2コマ
実務事前実習(4年) 32コマ
医療における心構え(4年)
医薬品情報(4年)
実務事前学習(3年) 4コマ
薬剤師の使命(1年)
一般用医薬品学(スポーツ2年)
- 3) 2018年度 薬学総合演習Ⅱ(6年) 4コマ
薬学総合演習ⅠB(4年) 2コマ
実務事前実習(4年) 28コマ

医療における心構え(4年)

医薬品情報(4年)

実務事前学習(3年) 4コマ

医療における生と死の問題(1年)

薬剤師の使命(1年)

一般用医薬品学(スポーツ2年)

4) 2017年度 薬学総合演習Ⅱ(6年) 3コマ

5年勉強会(5年) 3コマ

プレ教育(4年) 28コマ

実務事前学習(3年) 4コマ

医療における生と死の問題(1年)

薬剤師の使命(1年)

一般用医薬品学(スポーツ2年)

5) 2016年度 薬学総合演習Ⅱ(6年) 3コマ

ポスト教育(6年) 4コマ

5年勉強会(5年) 3コマ

プレ教育(4年) 28コマ

医薬品情報学(3年)

医療における生と死の問題(1年)

2. その他特筆すべき教育業績

[教育方法の開発]

- 1) ヒューマニズム教育において、コンセンサスゲーム・KJ法・二次元展開法・ワールドカフェ方式・ジグソー法・peer評価・2人からのSGD・反転学習を導入・企画・実施し、新しい薬学・薬剤師教育の醸成を実施した。
- 2) 海外学術交流において、交換留学生の長期研修(3ヶ月研修)及び教員の1ヶ月特別研修をタイ国立コンケン大学と実施し、単位交換及び国際交流の基盤を構築した。さらにシラバコーン大学からも同様の学生長期研修企画が予定されたが、感染状況の悪化のため延期となった。
- 3) 国際交流サマープログラム(2019,2020)のオンラインによる実施を企画し、今後のグローバル化を目指す新しい教育制度の基盤を構築した。
- 4) 2014年度より認知症サポーター教育の導入:長期実務実習での在宅介護体験・実習を円滑に進め、社会にニーズに応えられる薬剤師の育成を目指し、本学においても30年度より導入。
- 5) 2014年度よりe-ラーニング導入:すべての学生が『技能を確実に修得』するため、アバターによる動画コンテンツを活用したe-ラーニングを作成・導入した。学生個々が、いつでもどこでも視聴可能であり、反復による正確なイメージトレーニングと復習を可能にした。この動画コンテンツは薬剤師生涯教育においても活用している。この成果を27年10月に第7回Asian Association of Schools of Pharmacy(AASP) Conferenceで発表し、高い評価を得た。

本学においても、実務実習事前学習・事前実習、薬剤師の使命および国際交流において活用し、今後さらなる精査を行う予定である。

- 6) 2014年度より高度医療薬剤師コースにて体験型異文化コミュニケーション、医療人のための交流分析法を導入し、ヒューマニズム教育のさらなる深化を目指した。本学においても、交流分析とコーチングはヒューマニズム教育での実施、実務実習事前実習で導入予定である。

【学会・研修会等主催】

- 1) 久保田洋子(主催),日本アプライド・セラピューティクス学会, 第14回 科学的・合理的に薬物治療を実践するためのワークショップ,『症例解析&文献評価ワークショップ2018:心不全』,7月,日本薬科大学お茶の水キャンパス(2019)。
- 2) 久保田洋子(主催),日本アプライド・セラピューティクス学会, 第14回 科学的・合理的に薬物治療を実践するためのワークショップ,『症例解析&文献評価ワークショップ2018:脂質異常症』,5月,日本薬科大学お茶の水キャンパス(2018)。
- 3) 久保田洋子(勇美記念財団在宅医療助成研修会 主催),
第4回,在宅医療に求められるアサーティブ・コミュニケーション,11月,東京(2017)。
- 4) 久保田洋子(勇美記念財団在宅医療助成研修会 主催),
第3回 成年後見制度と地域包括ケアシステム,9月,東京(2017)。
- 5) 久保田洋子(勇美記念財団在宅医療助成研修会 主催),
第2回 地域包括ケアにおけるリハビリテーション職の役割,7月,東京(2017)。
- 6) 久保田洋子(勇美記念財団在宅医療助成研修会 主催),
第1回 多職種連携と地域の力,6月,東京(2017)。
- 7) 久保田洋子(主催),日本アプライド・セラピューティクス学会,第11回科学的・合理的に薬物療法を実践するためのワークショップ2015,「てんかん」,11月,武蔵野大有明キャンパス(2016)。
- 8) 久保田洋子(主催),石川県薬剤師会・北陸大学・簡易懸濁法研究会,簡易懸濁法研究会 in 金沢,1月,金沢(2016)。

【その他】

- 1) 日本アプライド・セラピューティクス学会,評議員(2013～)。
- 2) 日本医薬品情報学会, 学術雑誌・論文査読(2013～)。
- 3) 日本在宅薬学会, 編集委員:学術雑誌・論文査読(2014～)。
- 4) 日本在宅薬学会, 評議員(2015～)。
- 5) 日本私立薬科大学協会・薬剤師国家試験問題検討委員会実務部会, 委員(2017～)。
- 6) 薬学協議会・医薬品情報学教科担当会議, 委員(2015～)。
- 7) 薬学協議会・レギュラトリーサイエンス教科担当会議, 委員(2018～)。
- 8) 薬学共用試験センター・OSCE実施委員会, モニター(2016～)。
- 9) 薬学共用試験センター・CBT問題管理委員会, 委員(2013-2017)。
- 10) 薬学共用試験センター・CBT問題管理委員会, 実務領域責任者(2018～)。

